

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	白鷹陽光学園	受審(実施)年度 (※)	令和5年度	施設番号	41-0057
-----	--------	-----------------	-------	------	---------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和5年度)	改善計画 (令和5年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和6年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定 があった場合の実施状況 (年 月 日時点)
「白鷹陽光学園が今後も良い支援を継続できるようにするための職員で話し合う場を作るよう希望したい」について	<p>人材確保については、募集をかけてもなかなか応募がない状況が数年来続いている。</p> <p>施設環境については、令和5年から3か年の中期計画に基づき、実施を進めている。</p> <p>利用者支援については、ケース処遇会議、棟会議、必要に応じミニケース会議を開催している。</p> <p>次年度の計画について現状を振り返り、項目ごとに見直しに向けて会議を開催する。</p>	<p>(1) 来年度、利用者の実情を考え一部作業班体制を変える。</p> <p>(2) 委員会や係についても一部見直しする。各委員会から全職員での取り組みを効果的に発信する。</p> <p>(3) 各種会議のなかで、利用者が生活しやすい環境について話し合いを進め、優先順位を考えながら取り組む。</p> <p>(4) 定期的又は必要な際に、支援について検討する会議を開催する。</p> <p>(5) 研修時にはグループ討議を入れて、職員の考えを引き出す。</p> <p>(6) 施設の建て替え時期を10年後と想定し、将来の改築の構想と現施設の改修や修繕箇所等状況をみながら検討する。</p>	<p>1 実施済 (令和6年3月まで)</p> <p>(1) 作業班を一部変更した。(済)</p> <p>(2) 委員会や係を一部変更した。(済)</p> <p>(3) 今年度取り組んでいく。(済)</p> <p>(4) 継続して会議を開催する。(済)</p> <p>(5) 継続して取り組む。(済)</p> <p>(6) 改築の構想については今後取り組んでいく。(済)</p> <p>改修や修繕箇所については、改築時まで伸ばせるかどうかその都度検討し判断をしていく。(済)</p>	<p>左記実施状況に実施予定があった場合の実施状況 (年 月 日時点)</p>
「働きやすい職場風土となるよう改善できるところから着手をお願い	<p>職員アンケートにおいて、職員自身や事業所が取り組んで良くなったと思う点については、一つずつ課題を解決している結果であると評価でき、新たな課題に対して</p>	<p>(1) 職場内研修を開催する際は、グループ討議を行い、お互いの考えを共有する機会をつくる。</p> <p>(2) 小会議等でも、意見を出しやすい進捗に努</p>	<p>2 実施予定 (令和6年3月まで)</p> <p>(1) 今年度職場内研修を行って行く中で、グループワークを取り入れ、お互いの考えを聴く機会を積極的に実施していく。(済)</p>	<p>1 実施済み (年 月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>

<p>したい」 について</p>	<p>も取り組んでいく活力となる。 課題や改善点を提案した職員としては、事業所や職員全体で改善に取り組む姿は、それぞれの職員のやる気に繋がる。 職員の意識の差や支援についての考え方等の課題については、グループやチームで話をする機会や、普段から気軽に話しがしやすい雰囲気作りがもっと必要なことと、職員に対しても、敬う気持ちをもって仕事にあたることが大切である。</p>	<p>める。 (3) 普段の対話のなかで、気軽にコミュニケーションをとることを互いに心掛け、ポジティブな発言を意識する。 (4) 専門委員会を通じて、毎月のテーマを掲げ、その期間特に職員間で意識して取り組む。そのことについてお互いに気づいたことを気軽に話せる雰囲気作りに取り組む。 (5) 行動規範アンケートの項目について、わかりやすい表現に変えて、職員の意識により届くようにする。</p>	<p>(2) 小会議において、発言しやすい工夫をする。(済) (3) 普段からコミュニケーションをとることに意識する。(済) (4) 毎月のテーマを掲げ、その期間特に職員間で意識して取り組む。(済) (5) 行動規範アンケートの項目について見直す。(済)</p>	
<p>「利用者・入居待機者の高齢化、重度化に對して業務省力化に ICT 機器導入等の検討をお願いしたい」 について</p>	<p>利用者の年齢が高くなり重度化も進んでいる状況にあって、職員数の確保が難しいなか、入所待機者も重度の行動障害を持つ割合が高いという背景がある。共有スペースにおいて、さまざまな年齢で元気で若い方から車いすの方まで混在している。</p>	<p>募集を継続しているが、ひとりでぶそく解消に至っていない。今後も期待は薄い。ため、特定技能外国人職員を内定し、入国後来年度から勤務する予定となっている。並行して、ICT化をすすめることで利用者のためになり、職員の業務負担軽減にも繋がる ICT 機器がないか検討する。</p>	<p>2実施予定 (令和6年3月) ICT機器を導入することで、人手不足の解消や、利用者の生活のしやすさ、業務省力化、職員負担軽減等につながりそうなものはないか検討を行う。(済)</p>	<p>1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。</p>

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。